

2016年6月17日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 石井 直
(東証第1部 証券コード: 4324)

電通、デンマークの有力デジタルエージェンシー 「マグネティックス社」の株式100%取得で合意

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、デンマークの有力デジタルエージェンシーである「Magnetix A/S」（本社：コペンハーゲン市、創業者兼 CEO：Martin Bochineck、以下「マグネティックス社」）の株式100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。

なお、本買収の実現のためには、デンマーク規制当局の承認が必要になります。

本件買収の目的は、当社グループの9つのグローバルネットワーク・ブランド[※]の一つでデジタルエージェンシーである Isobar（アイソバー）のデジタルおよび CRM 領域におけるケイパビリティを強化・拡充することにあります。買収完了後、Isobar は北欧市場（デンマーク、フィンランド、スウェーデン、ノルウェー）において No.1 のデジタルエージェンシーとなります。

2000年に設立されたマグネティックス社は、テクノロジーに対するインサイトとその合理的な活用方法に強みを持っており、データ活用、CRM プログラムや E コマース・プラットフォームの構築など、テクノロジーを活用した各種ソリューションを顧客企業に提供しています。そのサービスは戦略立案からソリューションの導入・管理まで、プロセス全般にわたっています。

同社はデンマークの大手ブランドからグローバルブランドに至るまで、多様な業種の優良企業を顧客として抱えています。2014年と2015年には最も顧客企業のブランド力を高めることに成功したデンマークのデジタルエージェンシーの第1位に選ばれるなど、同社が提供するデジタルおよびダイレクトマーケティング領域のソリューションには高い定評があります。

株式取得後、当社はマグネティックス社を Isobar（アイソバー）のネットワークに組み込みます。ブランド呼称を Magnetix – Linked by Isobar（マグネティックス・リンクト・バイ・アイソバー）とし、グループ会社との連携によりシナジーを生み出していくことで、北欧市場

における成長戦略を加速させていきます。

当社グループのメディア・コミュニケーション・エージェンシーである Carat（カラ）が行っている世界の広告費成長率予測（2016年3月）によると、デンマークの2015年のデジタル広告費は、前年比で11.0%増でした。2016年と2017年もそれぞれ10.5%増、9.0%増と堅調な成長が続くと予測しています。

なお、本件が当社の2016年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

※ 電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」（ロンドン）は、9つのグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。9つのブランドとは、Carat、Dentsu (Dentsu Branded Agencies)、Dentsu media、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

【マグネティックス社の概要】

社 名 : Magnetix A/S
本社所在地 : デンマーク・コペンハーゲン市
設 立 : 2000年7月
株主構成 : 株式取得後、電通イージス・ネットワーク 100%
収益(Revenue) : 1億1,697万デンマーククローネ（約18.7億円）（2015年12月期）
代 表 者 : Martin Bochineck（創業者兼 CEO）
Christina Rind Helsbro (COO)
従業員数 : 130名
事業内容 : デジタルマーケティング全般のサービスを提供

以 上